

# 泡盛のコーヒー割りがヒット 伝統と革新で170年 沖縄に現存する最古の泡盛メーカー

新里酒造

新里酒造（沖縄市古謝、新里  
建二社長098・939・5050  
<http://www.shinzato-shuzo.co.jp/>）は、1846年創業、170

年の歴史がある。当時、琉球王府から泡盛造りに選ばれた30人の蔵人の中の1人であり、現存する沖縄の酒造所としては、最も古いと言われている。

同社の商品は、他社の泡盛に比べ香りの高さが特長である。通常、高温で発酵させると香りの成分まで飛んでしまう。香りを保つため低温で発酵させるので、通常14日間で済む発酵過程に20日間かける。

「消費者の嗜好は時代によって違う。守るべきものと、変えていくものがある」と話す新里社長は、昔

ながらの製法を守る一方で新商品

開発も怠らない。そんな商品の1つが『コーヒースピリッツ』だ。泡

盛のコーヒー割りで、近年若い人の間で流行っている新しい飲み方である。ある日のスナックで、社長はせっかくの泡盛に缶コーヒーを入れていた女性スタッフを目にした。しかしこれが飲みやすく、商品になる！と思った。より香りが引き立つよう原料に使うコーヒーにもこだわり、地元のコ

ヒー業者と何度も試作を繰り返した。今ではヒット商品となり、東京で開催された「お土産グランプリ2016」では見事に各国審査員賞（韓国）を受賞し、ファミリー

マート沖縄では、「BLACK泡盛コーヒー（無糖）」としてカップ

で提供している。



同社のヒット商品『コーヒースピリッツ』

「若い人のアルコール離れも心配されているが、昔より飲みやすい商品が開発されている。もつと多くの人に泡盛を飲んでほしい」と新里社長は語る。工場見学（要予約）も行っているの

で、気軽にお立ち寄りいただきたい。